

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	通過率(%)	備考
〔知識及び技能〕 (2)1学年ア	1	一 発表の内容を正確に聞き取っている。	知・技	95	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A話すこと・聞くこと(1)1学年エ		二 司会が様々な意見をどのようにメモに整理しているかについて、正しいものを指摘している。	思・判・表	72	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A話すこと・聞くこと(1)1学年オ		三 話し合いの中で不足している内容を補うための的確な発言をしている。	思・判・表	52	○
〔知識及び技能〕 (1)1学年イ (1)2学年ウ	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔成否〕を正しく読んでいる。	知・技	70	
		(2) 文脈の中で漢字〔相違〕を正しく読んでいる。	知・技	44	
		(3) 文脈の中で漢字〔至る〕を正しく読んでいる。	知・技	95	
	二 (1) 文脈の中で漢字〔果樹〕を正しく書いている。	知・技	79		
	(2) 文脈の中で漢字〔暖冬〕を正しく書いている。	知・技	34		
	(3) 文脈の中で漢字〔努める〕を正しく書いている。	知・技	50		
三 (1) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字に書き改めている。	知・技	63			
(2) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字に書き改めている。	知・技	16			
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年イ	3	一 文章の展開に即して内容を的確に捉え、適切な語句を指摘している。	思・判・表	89	
〔知識及び技能〕 (3)1学年ア		二 文語のきまりに従って、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直している。	知・技	79	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年イ		三 文章の展開に即して登場人物の相互関係についての的確に捉え、会話主を指摘している。	思・判・表	69	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		四 文章の展開に即して内容を捉え、登場人物の行動を条件に従ってまとめている。	思・判・表	75	○
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ	4	一 指示する語句の内容を文脈に沿って読み取り、指摘している。	知・技	48	
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ		二 語句の意味を文脈に沿って読み取り、ふさわしいものを指摘している。	知・技	68	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)2学年イ		三 登場人物の言動の意味を捉え、内容を理解している。	思・判・表	53	○
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年エ		四 叙述を根拠にして心情を捉え、表現の効果について自分の考えを書いている。	思・判・表	62	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		五 場面と描写を結び付けて、内容を理解している。	思・判・表	83	
〔知識及び技能〕 (2)1学年イ		六 情報を分類して比較し、情報の整理の仕方について理解している。	知・技	62	
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ	5	一 自立語について正しく理解している。	知・技	34	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		二 文章の内容を的確に捉え、指示された内容についてまとめて書いている。	思・判・表	46	○
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ		三 文脈に沿った語句の意味を指摘している。	知・技	71	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年ア		四 文章の内容に即して内容を的確に捉え、示された一文が入る箇所を指摘している。	思・判・表	59	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 C読むこと(1)1学年エ		五 筆者の文章の述べ方について、適切なものを指摘している。	思・判・表	52	
〔思考力・判断力・表現力等〕 C読むこと(1)1学年オ		六 筆者の考え方が表れている部分を文章中から抜き出している。	思・判・表	62	
〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B書くこと(1)1学年ア	6	見通しをもって必要な情報を集め、作品に興味をもってもらえると考えた理由を、条件に従って書いている。	思・判・表	49	○

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	60	63

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	備考	東青管内			西北管内				
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
①	一	内容の聞き取り		97	97	97	91	88	87	97
	二	正しい内容の指摘		73	74	65	71	70	71	72
	三	不足している内容の補足	○	56	56	48	49	53	48	45
②	一	(1) [成否 (せいひ)] の読み方		70	70	71	69	71	64	69
		(2) [相違 (そうい)] の読み方		49	49	62	44	35	52	48
		(3) [至 (いた) る] の読み方		95	95	96	95	95	94	94
	二	(1) [かじゅ (果樹)] の書き方		77	76	78	83	81	81	88
		(2) [だんとう (暖冬)] の書き方		36	36	34	31	32	30	30
		(3) [つと (努) める] の書き方		59	60	52	40	44	36	38
	三	(1) 誤字訂正 (約→訳)		61	61	68	70	73	69	66
		(2) 誤字訂正 (期→機)		18	17	22	16	16	20	14
	③	一	語句の指摘		89	89	87	90	89	89
二		現代仮名遣いへの書き換え		79	79	78	79	79	81	78
三		会話主の指摘		69	69	76	67	68	64	67
四		内容の説明	○	75	75	77	70	70	68	72
④	一	指示する内容の指摘		47	47	58	44	48	40	43
	二	慣用句の指摘		68	69	65	69	72	72	64
	三	言動を捉えた内容の理解	○	63	63	66	46	52	56	33
	四	表現の効果の説明		65	65	67	64	62	67	64
	五	内容の理解		83	83	82	82	85	80	82
	六	情報の整理		61	60	67	59	60	60	57
⑤	一	自立語の理解		35	35	38	28	25	25	34
	二	内容の説明	○	47	47	49	42	45	40	41
	三	語句の意味の指摘		72	72	74	67	69	66	64
	四	挿入箇所への指摘		60	61	59	57	60	57	53
	五	筆者の文章の述べ方の指摘		54	55	43	49	54	49	45
	六	筆者の考え方の指摘		63	63	72	61	64	62	57
⑥	伝えたいことを明確にした文章の記述	○	43	43	52	40	38	48	38	
教科全体				63	63	64	60	61	60	59

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内		三 八 管 内		県全体			
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
96	96	96	97	94	93	88	98	94	96	97	94	97	97	95	95
70	70	68	73	65	74	72	75	74	69	70	65	72	73	70	72
50	52	38	54	44	54	55	54	52	54	58	39	51	51	52	52
71	73	64	71	71	68	69	66	69	70	72	66	69	70	68	70
47	44	48	51	55	38	39	43	34	40	41	35	41	43	34	44
94	94	91	95	95	95	95	95	96	96	97	91	96	96	97	95
79	81	67	76	82	78	81	81	74	72	75	62	82	82	81	79
32	32	27	34	29	33	39	32	29	33	35	27	34	35	31	34
45	47	26	48	53	43	47	46	39	55	56	53	54	55	51	50
56	58	45	56	58	66	71	70	61	53	54	49	67	66	70	63
12	14	4	9	10	18	19	15	19	13	13	12	16	17	13	16
89	89	89	92	86	90	89	91	89	90	91	87	90	90	91	89
80	83	74	72	80	78	81	76	76	80	83	70	78	79	76	79
67	68	58	70	64	70	73	73	66	67	67	65	70	70	67	69
77	78	73	82	72	73	74	70	73	77	80	69	76	76	75	75
49	49	48	50	47	48	50	51	46	48	50	42	48	48	49	48
66	66	61	70	67	70	72	68	68	64	62	69	69	69	67	68
62	66	50	64	45	48	47	57	44	56	54	62	42	39	58	53
60	64	45	59	59	61	63	53	62	59	59	59	60	60	61	62
81	81	75	82	82	85	86	85	85	82	83	76	84	84	85	83
59	60	55	66	50	65	65	63	66	59	61	52	64	65	59	62
29	31	27	27	25	38	42	35	37	35	32	44	36	35	41	34
47	48	46	54	34	41	40	46	40	50	49	53	50	51	43	46
69	69	67	71	68	72	74	73	71	71	73	64	72	72	72	71
57	58	50	60	58	60	63	64	57	55	57	50	61	62	58	59
49	50	44	51	48	56	59	56	52	49	51	46	53	54	50	52
60	60	59	64	59	62	64	65	60	57	59	50	65	65	62	62
53	58	40	65	25	46	40	51	49	54	55	51	54	53	60	49
61	62	55	63	58	62	63	63	60	61	62	57	63	63	62	62

※通過率(%)は、「総正解数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率 (%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)	
①	三	52	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない (32.0) [池田さんの方法について問題点を挙げ、質問している] [確認したい内容が述べられていない] [池田さんに他の二人の方法について意見を求めている] 無答 (12.0) 実際に話すような話形で書かれていない (6.0)
②	一(2)	44	<ul style="list-style-type: none"> 「相違」を「ちがひ」「まちがひ」「あいちがひ」「そうちがひ」等と誤っている (52.0) ・無答 (7.0)
	二(2)	34	<ul style="list-style-type: none"> 「暖」を「段」「断」等、「冬」を「当」「頭」等、「ひへん(日)」を「めへん(目)」と誤っている (46.5) ・無答 (24.0)
	三(2)	16	<ul style="list-style-type: none"> 誤字としての「期」を指摘していない (43.5) 無答 (19.5) ・「期」を「気」等と誤っている (14.5)
③	四	75	<ul style="list-style-type: none"> 松兵衛がねずみをどのように助けたかを説明していない (16.0) 無答 (6.5)
④	一	48	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない (38.0) [娘が小学生になって間もなくの頃、田舎の父母の家に娘一人で泊まりにいった時、金物屋などというなつかしい響きを持つ店 等] 無答 (9.0) 条件に沿っていない (5.0) [娘がほうきを買ってほしいと言った時点 等]
	三	53	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない (35.0) [竹ぼうきを何に使うのか不思議に思ったから、竹ぼうきを車の方に運ぼうとするのを不思議に思ったから、子どものイマジナリーな世界を広げてみせたかったから 等] 条件に沿っていない (14.0) [情報の取り出しに止まっている…大事そうにほうきを抱えた腕を不思議に思ったから 等] 無答 (5.0)
	六	62	<ul style="list-style-type: none"> 図を用いた情報の整理の仕方を理解していない。(30.0) [「娘」にとって異なる世界にある事物を一人の人間がつかないという見方で比較できていない 等] 条件に沿っていない (4.0) ・無答 (2.0)
⑤	一	34	<ul style="list-style-type: none"> 自立語を正しく理解していない (58.5) ・無答 (2.0)
	二	46	<ul style="list-style-type: none"> 弱いロボットの能力に触れていない (28.0) [わたしたちとテクノロジーの関係を考える上で重要な視点を投げかけてくれる能力 等] 弱いロボットの行動をそのまま抜き出している (12.0) [ごみを見つけるけれど捨てることはしないし、ただ手をつなぐ力 等] 無答 (6.5) 条件に沿っていない (4.5)
	四	59	<ul style="list-style-type: none"> D (15.0) ・ B (10.5) ・ C (8.0) ・ 無答 (2.0) ・ A (1.0)
	五	52	<ul style="list-style-type: none"> ウ (23.5) ・ ア (9.0) ・ エ (7.0) ・ 無答 (1.5)
⑥		49	<ul style="list-style-type: none"> 【条件2】質問を考えた理由が適切に書かれていない (19.0) 【条件1】先生への質問がポスターの目的に沿っていない (13.0) 無答 (11.0) 【条件1】は満たしているが、【条件2】が無答 (4.0)

エ 今後の指導について

○課題の見られた問題 ④六

○出題のねらい

④六は、情報の扱い方に関する事項のうち、複数の情報について共通する特徴とそれぞれにしかない特徴を分類し、共通点と相違点を整理する問題である。出題の意図は、令和3年度の分析において、文章中における表現の効果について自分の考えを支える根拠となる情報を明確にすることに課題がみられたため、知識及び技能の一つとして、学習指導要領改訂に伴い新設された、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、いわゆる思考ツールを用いた情報の整理の仕方を理解していない生徒が4割弱いることが分かった。

原因として、「『娘』にとって異なる世界にある事物を一人の人間がつないでいるという見方で情報を整理できていない」ということが考えられる。

課題として、複数の情報の共通点と相違点を明らかにすることができていないと考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、まず、思考ツールを用いた分析により習得した〔知識及び技能（情報の整理）〕を活用して、〔思考力、判断力、表現力等〕のどの力の育成に結び付けるようにするか、という関連性を明らかにすることが大切である。そして、それぞれの思考ツールで分析することのよさを理解し、使うことができる学習活動を設定することが必要である。

指導例

情報の整理の仕方について理解を深めさせ、使わせる指導

～単元名「『少年の日の思い出』を読み、作品や登場人物の特徴について発表しよう。」（7時間扱い）～

【学習指導要領における内容】

1 学年「知識及び技能」（2）

イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。

1 学年「思考力、判断力、表現力等」C読むこと（1）

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする事。

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。

学習活動 単元を通して自分が身に付ける力を確認した上で、作品を通読する。

2 作品の展開を捉えさせる。

学習活動 ・語り手の転換に注意しながら、全体が前半と後半の二つに分かれていることを確認する。
・時間、場所、出来事に着目しながら、後半をいくつかの場面に分け、概要を短くまとめる。

3 「僕」の心情の変化をまとめさせる。

学習活動 ・「僕」から見た「エーミール」の人柄が描写されている部分を抜き出す。
・クジャクヤママユの噂を聞いてから、盗み、壊すまでの「僕」の心情の変化をまとめる。
・収集したちょうを潰す「僕」の行動を基に心情を捉える。

4 「僕」と「エーミール」がそれぞれ伝えたかった思いについて考え、思考ツールに整理させる。



作品の中で描かれる出来事には、語り手の価値観が表れます。作品を読むときには、語り手に着目して、誰の視点で描かれているのかを考えることが大切です。そこで今回は、WHYツリーという思考ツールを使って、「僕」と「エーミール」がそれぞれ伝えたかった思いを整理してみましょう。

学習活動① 「僕」と「エーミール」がそれぞれ伝えたかった思いとその理由について、グループで話し合ったことを思考ツールに記入する。



「僕」は盗もうという気持ちで部屋に入ったのではないという「真意」を、自分のできる精一杯の謝罪で分かってもらいたかったのだと思います。



「真意」は言い換えると「誠意」とも言えるかな。自分の持っているちょうをつぶしたのは、せめてものつぐないだったのではよね。



一生懸命に自分のやったことを謝っているのに、何で「エーミール」は許してあげないのでしょうか。

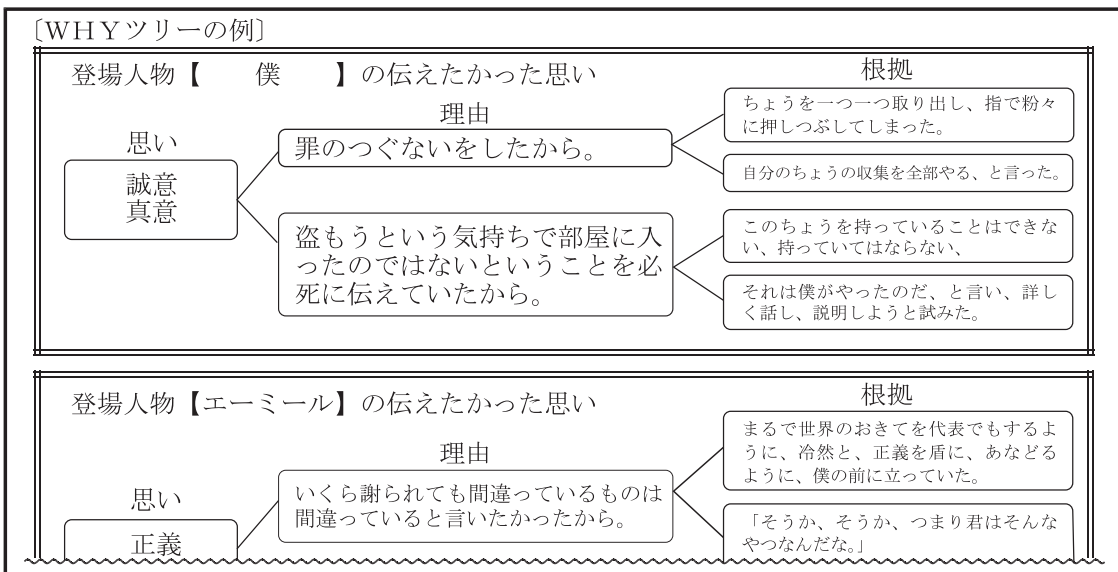


「エーミール」は自分の大事な収集を台無しにされたので、かなり傷ついたのだと思います。



もともと「僕」がちょうを見たい一心で家に入り込んでしまったのが原因です。「エーミール」が伝えたかったのは「正義」だと思います。いくら謝られても間違っていたことは間違っていると伝えたかったのではないのでしょうか。

学習活動② 個人で理由の根拠となる叙述を文章から抜き出し、思考ツールに記入する。



学習活動③ 叙述が理由の根拠として適しているか、全体で確かめる。

5 「エーミール」の視点から文章を書き換え、交流させる。

学習活動 ・書き換える場面を選び、創作する。
・書いた文章を読み合い、感想や意見、作品や登場人物について発表し合う。

6 学習を振り返らせる。

学習活動 別の登場人物の視点も踏まえて読むことで、自分の考えや作品の印象はどのように変わったか、発表する。

ポイント

- ・WHYツリーによって、物事を筋道立てて考える思考の流れを可視化できる。作品から情報を取り出して整理し、関連付ける力を身に付けさせるための思考ツールである。
- ・「思い」に当てはまる言葉が出てこない場合は、複数の言葉からなるヒントカードを用意し、選ばせる手立ても考えられる。
- ・付箋や1人1台端末を活用することも考えられる。

○課題の見られた問題 [5]二

○出題のねらい

[5]二は、精査・解釈に関する事項のうち、必要な情報に着目し、内容を解釈する問題である。出題の意図は、令和3年度の分析において、文章中に示された二文について、これを要約した一文として適したものを選ぶことに課題がみられたため、文章中の語句について具体的に説明している部分に着目し、指定された字数で要約する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、語句について説明している情報を間違えて指摘していることが分かった。

原因として、「必要な情報かどうかを確認せずに判断した」「必要な情報を見付けるための判断基準が明確でなかった」ということが考えられる。

課題として、目的に応じて、文章全体の中から中心となっている部分や筆者の主張に関連する部分を見付けることができていないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、文章全体の中から目的に応じて必要な情報を読み取ったり、要約したりすることが必要である。

指導例

目的に応じて必要な情報を捉えて要約し、内容を解釈させる指導
～单元名「内容を紹介するQ & A集を作ろう」(2時間扱い)～

【学習指導要領における内容】

1 学年「知識及び技能」(2)

ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。

1 学年「思考力・判断力・表現力等」C読むこと(1)

ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること。

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。



「古生物学におけるネズミ」という文章について、この文章をまだ読んでいない人に内容を紹介する「Q&A集」を作りましょう。「Q&A集」を作ることで、文章の内容に対する理解を深めましょう。

2 文章を読み、個人でQ&Aを考えさせる。

- 学習活動** ・個人で「なぜ」「いつ」「どこ」「何」「どのように」「どちら」を使いながら、この文章の内容を紹介するQ&Aを考える。
- ・Q&Aは本文から必要な語や文を見つけて要約して書く。

[ワークシートの例]



Aさん

「古生物学におけるネズミ」のQ&A集を作ろう

- Q なぜ博物館のマンモスや恐竜は生き生きと復元することができるのか。
- A 古生物学という学問の研究成果の一つだから。



Bさん

「古生物学におけるネズミ」のQ&A集を作ろう

- Q ネズミの歯の化石を使って研究することで何が分かるか。
- A どんな種類のネズミがどの時代に生存し、どのような生態系に属していたかということ。

3 グループで、個人で考えたQ&Aについて意見交流させる。

学習活動 「Q&Aは本文の内容を正しく読みとり、必要な語や文を見つけて要約しているか」という観点で、本文の内容についてQ&Aの手がかりになる箇所を印を付けながらグループで意見交流する。



Aさん

僕は「なぜ博物館のマンモスや恐竜は生き生きと復元することができるのか。」という問いと「古生物学という学問の研究成果の一つだから。」という答えにしたよ。



Bさん

Aさんの問いはいいと思うけど、答えは違うのではないかな。「骨の化石が比較的よい状態で発見される」の部分が答えだと思うわ。



Cさん

私は「ネズミの歯の化石を使って何が分かるか。」という問いと「どんな種類のネズミがどの時代に生存し、どのような生態系に属していたかということ。」という答えを考えてみたわ。

ネズミのことはこの文章全体で書かれているし、「歯の化石」という言葉は何回も出てくるよね。「歯の化石」は内容を伝えるために必要な言葉だから、キーワードと言えるね。だから僕も「歯の化石」に関する問いを作ってみたйна。

① マンモスや恐竜などの骨を博物館で観察したことはあるだろうか。これらの動物は既に絶滅しているにもかかわらず、まるで今にもよみがえりそうな姿で生き生きと復元されている。これは、絶滅した生物を分類し、その生態や進化の過程を明らかにする古生物学という学問の研究成果の一つである。マンモスや恐竜のような大型動物の場合、数万年から数億年という時間を経ても、骨の化石が比較的良好状態で発見される。しかし、小型動物の場合、堆積物に埋没する過程で分解されて、骨はほとんど残らない。

② 骨が残っていないとすると、小型動物の一つであるネズミ類は何によって研究されているのだろうか。実は、ネズミ類は、歯の化石によって研究されている。歯は体の中で最も硬い組織であるため、化石として保存されやすいからである。

③ それでは、ネズミ類の歯の化石はどのようにして発掘するのだろうか。大型動物の場合は、堆積物の中から直接化石を発掘することができる。しかし、この方法で発掘するには、ネズミ類の歯の化石は、あまりにも小さい。そこで、次のような方法をとる。まず、土壌や河川にたまった砂や泥などの堆積物を採取し、ふるいにかける。ネズミ類の歯の化石は泥より大きいので、砂粒とともにふるいの上に残留する。次に、顕微鏡を使って残留物の中から歯の化石を拾い出す。この方法によって標本数が増え、どんな種類のネズミが、どの時代に生存し、どのような生態系に属していたのかを探ることが可能になった。

(後略)

〔木村由莉「古生物学におけるネズミ」より〕

※Q&Aの手がかりになる箇所を印を付よう。
問いに関する部分には
答えに関する部分には
キーワードには

4 グループで「Q&A集」を完成させる。

学習活動① グループで話し合った「Q&A」を「Q&A集」のワークシートに記入する。

「古生物におけるネズミ」Q&A集		第1グループ
<p>Q なぜ博物館のマンモスや恐竜は生き生きと復元することができるのか。</p> <p>A 大型動物の場合、長い時間を経ても骨の化石が比較的よい状態で発見されるから。</p> <p style="text-align: right;">(Aさん)</p>	<p>Q ネズミの歯の化石を使って研究すると何が分かるか。</p> <p>A どんな種類のネズミがどの時代に生存し、どのような生態系に属していたかということ。</p> <p style="text-align: right;">(Bさん)</p>	<p>Q あまりにも小さいネズミの歯の化石はどのように発掘するのか。</p> <p>A 土壌や河川にたまった砂や泥などの堆積物を採取し、ふるいにかけて顕微鏡を使ってネズミの歯の化石を拾い出す。</p> <p style="text-align: right;">(Cさん)</p>

学習活動② 完成した「Q&A集」を教室に掲示して、「Q&A集」の内容について、情報と情報との関係や問いと答えとの関係が正しいかを確認し合う。

5 学習を振り返らせる

ポイント

- ・新聞や他教科の教科書などを教材に、本事例の授業を行うことも有効である。
- ・Q&Aを作ることは、目的に応じて要約することにつながる。このような学習は、例えば本の帯や広告カード(ポップ)を作る言語活動などを通して取り組むことができる。
- ・1人1台端末を活用することも考えられる。